

組合青年部県大会 開催報告

広島県青年中央会（会長 丸本修二）及び広島県中央会（会長 伊藤學人）は、11月4日（水）、リーガロイヤルホテル広島にて「平成27年度組合青年部県大会」を開催しました。当日は青年中央会会員、組合青年部関係者など約70名が出席。記念講演では、一般社団法人ボトムアップパーソンズ協会 畑喜美夫代表より、「ボトムアップ理論～打てば響く組織づくりの挑戦～」をテーマに、広島観音高校サッカー部の顧問時代に全国制覇を成し遂げた時の事例を交え、組織の作り方や指導方法について講演が行われました。

講演では、『ボトムアップ理論とは、組織を構成する一人一人が発議する「下意上達」によって現場力を高め生産性を上げる（個人の自発性を促す）ことを目指すものであり、昔からある組織の在り方としてトップダウンによる指示で組織を作るのとは異なる。これからは加点主義のウェートが高い組織をつくるのが組織の長に求められている。経営者も組織を構成する一人一人にしっかりと目を配り、ボトムアップ理論を通じて全ての社員が力を発揮できる組織を作り上げてほしい。』と語られました。終わりに、グループワークを行い、一人で答えを書き出した場合と各グループ、更には参加者全体で力を合わせると何倍もの答えが生み出せることを実感させ、さらに組織の構成員一人一人の力を伸ばすことの重要性についても説明されました。

講演終了後には懇親会が開催され、講師の畑代表にもご出席いただき、和やかな雰囲気の中、参加者全員が交流を深めました。



丸本青年中央会会長



畑 喜美夫 氏



組織の在り方を語る畑氏



講演会の様子

【平成27年度補正予算に関する情報】（抜粋）	※詳細は、広島県中央会 HP をご覧ください。
○ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金	1,020.5 億円
○中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金	442.0 億円
○小規模事業者支援パッケージ事業（持続化補助金等）	34.3 億円

県知事を囲んでの集い 開催報告



湯崎広島県知事

広島県青年中央会（会長 丸本修二）及び広島県中央会（会長 伊藤學人）は、1月29日（金）、福山ニューキャッスルホテルにて「平成27年度県知事を囲んでの集い」を開催しました。当日は組合青年部関係者、中央会会員等63名が出席し、「ひろしま未来チャレンジビジョン改定版について」というテーマで、湯崎英彦広島県知事より講演が行われました。



丸本青年中央会会長

講演で湯崎知事は、「今後5年間で目指す姿を県民の皆様と共有するため、『ひろしま未来チャレンジビジョン改定版』を新たに策定した。広島県は、基本理念を基に【仕事でチャレンジ！暮らしをエンジョイ！活気あふれる広島県～仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現～】を目指していく。暮らしの充実が仕事の生産性アップにつながり、欲張れる好循環につながる。基本理念は、【将来にわたって、『広島に生まれ、育ち、働いて良かった』と心から思える広島県の実現】であり、これまで【新たな経済成長】【人づくり】【安心な暮らしづくり】【豊かな地域づくり】の4つの政策分野を相互に関連させることで、広島県の合計特殊出生率回復幅が全国第4位となり、少子化対策の効果があらわれ、また、広島県の総観光客数が3年連続過去最高を更新するなど、観光地認知度・ブランド力の向上等もみられた。『子供を持ちたい、広島に住み続けたい』という県民一人ひとりの希望を実現できる社会をつくり出すことが必要であり、広島県は【イノベーション】【ファミリー・フレンドリー】【都市と自然の近接ライフ】の3つの視点を掲げ、多くの人々にとっての“究極のホームタウン”となるよう取り組んでいきたい。」と語られました。

湯崎知事の講演終了後は、出席者が県知事を囲んでの記念撮影を行い、その後懇親会を開催しました。懇親会場では、湯崎知事に各テーブルを廻っていただき、参加者との意見交換や名刺交換を行うなど交流を深めました。



湯崎広島県知事を囲んでの記念撮影

青年中央会または組合青年部活動についてのお問い合わせは、青年中央会事務局まで
(TEL)082-228-0926 (E-mail)chuokai@chuokai-hiroshima.or.jp

第14回海外研修 in カンボジア王国



第14回目となる今年度の海外研修は、2月11日（木）～14日（日）の4日間で、カンボジア王国の首都「プノンペン」を訪問しました。カンボジアはASEAN諸国に位置し、近年、めざましい経済発展が続いています。日本への主要輸出品目は靴や衣類、日本からの主要輸出品目は小型船舶、車両部品、縫製用機械などであり、今後の海外展開・ビジネスチャンスの拡大を図る上で魅力ある国です。

視察研修では、まず、JETRO（日本貿易振興機構）プノンペン事務所 伊藤隆友海外投資アドバイザーより、カンボジアの基本情報、経済情勢や日系企業がカンボジアへ進出する際の注意点などについて説明を受け、参加者と意見交換を行いました。

続いて、諸外国へ外国人技能実習生を送り出しているアクセルアジアヒューマンリソーシズ株式会社 萱場優カンボジア責任者より、外国人技能実習制度の概要、同制度を利用するカンボジア国民の現況や日系企業がカンボジアへ進出するメリット等について説明を受け、日本語学校等を視察しました。

更に、Taiyo Kogyo (Cambodia) Co., Ltd.（テント倉庫や膜天井施設など、膜構造建築物で世界トップクラスのシェア）を訪問し、鎌田浩一社長より、カンボジアでの事業内容、カンボジア操業メリット・デメリット（下記参照）について説明を受け、参加者と意見交換を行いました。その後、工場視察を行いながら、フレキシブルコンテナの製造工程ごとに、品質管理の方法や独自技術の紹介から人材育成に至るまで、詳細に説明を受けました。

最後に、1992年アンコール遺跡として世界遺産に登録された、アンコール・ワット、アンコール・トムを観光しました。

カンボジアに進出している日系企業数は、近年大幅に増加しており、2014年には1,000社を越えています。本研修の参加者にあっても、海外事業展開において有望な投資先であることを、より一層実感したようでした。今後も青年中央会では、参加者の海外展開につながることを期待し、海外・県外の各方面への研修等を実施していく事としています。

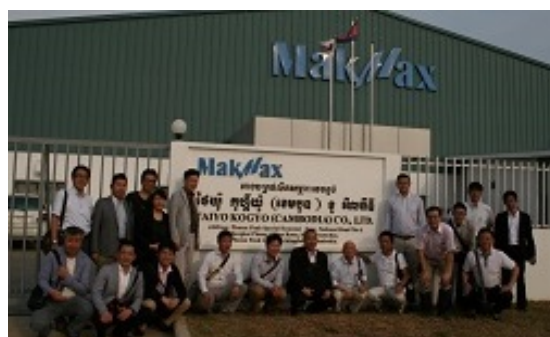
～カンボジア操業メリット・デメリット～

メリット

- ・労働力が豊富
- ・性格は温厚で素直、指導されたことは素直に従う
- ・ストライキやデモなどはほぼない
- ・タイ、ベトナムからの輸出入が短期かつ容易にできる
- ・経済特区内であれば省庁関係の手続きが容易
- ・語学力があり、日常会話で英語が利用できる

デメリット

- ・最低賃金の急激な上昇
- ・教育レベルが低く、仕事経験も浅い
- ・物流コストが高い
- ・ベトナムから電気を購入しているため、電気代が高い
- ・国内で調達できる材料が少ない



Taiyo Kogyo を視察



世界遺産のアンコール遺跡を訪問

組合青年部PR事業の一環として「広島キッズシティ2015」に参画

10月10日、11日の2日間、旧広島市民球場跡地において、組合青年部PR事業の一環として「広島キッズシティ2015」に参画しました。今回で5回目の実施となったこのイベントは、広島キッズシティ2015実行委員会（一般社団法人広島青年会議所、広島県、広島市による共催）が主催しており、青年中央会は後援団体としての参画となりました。当日は総出店数87ブースのうち、青年中央会の会員組合青年部等からは6ブースの出店があり、子ども達に対する職業体験を通じて組合や業界のPRを行いました。また、青年中央会役員及び事務局職員は事前登録された“キッズアルバイト”に出店ブースでのアルバイトの紹介を行う「ハローワーク」の受付業務を担当しました。会場ではそれぞれの出店者が工夫を凝らしながら子供たちへの職業体験をサポートしつつ、業界や組合のPRを行い、子供たちやその家族、その他会場を訪れた人々の笑顔がこぼれるようなブース出店で大変好評となりました。青年中央会としては、一般社団法人広島青年会議所等との連携を図りながら、今後も積極的に当イベントへ参画することとしています。



ハローワーク業務の様子



水道管工事体験の様子



電気工事体験の様子



デザインマーク体験教室

～組合青年部助成事業 実施報告～

『広島県板金工業組合 青年部』

建築板金の基本能力である「技能」の向上～銅製アンコーの製作～

『広島県東部機械金属工業協同組合 東青会』

環境・エネルギーや医療機分野など次世代産業への取り組みについて

『広島県電気工事工業組合 青年部』

HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）・省エネ技術等の概要とその展開について

青年部活動助成事業を活用しませんか？

青年中央会では、組合青年部活動の活性化を目的として、毎年青年部を対象に活動費の一部を助成しています。助成実績として講習会や研修会など様々な活動に対して助成しています。平成28年度も元気で活発な青年部活動に対し助成を行う予定です。